

田川っ子の「知的好奇心」「探求心」をもっともっと伸ばしましょう！

田川市教育委員会 教育長 吉柳啓二

現在、田川市教育委員会は、「自分のよさや特性を生かして、自立し、進んで社会参画する子どもの育成」をめざして、「読み・書き・計算」の徹底反復による「基礎学力」の向上に取り組んでいます。その結果、「全国学力テスト」において全国平均を超える学校が増加してきましたが、これからの時代は「基礎学力」とともに「知識・技能を活用しながら、様々な課題を解決していく力」が求められます。文部科学省の大学入試改革によって、大学入試も知識だけではなく、自ら問題を見つけ、解決していく“主体性”を中心に評価していく方向へと大きく変わろうとしています。



そのような中、うれしいニュースが飛び込んできました。新聞にも紹介されていましたが、「図書館を使った調べる学習コンクール」の全国大会で、市立図書館が推薦した田川市の児童生徒13人の作品がすべて入選したのです。

このコンクールは自らが課題を見つけ、図書館などを使って、資料・情報を探し、まとめ、表現する力の育成をめざしたものです。今回は21回目で応募総数91,908点もあつたそうです。入選した13点のうち、「知らなかった炭坑の歴史～私の町は炭坑があつた町」と題した作品が優良賞に入選しました。優良賞に選ばれたこの作品は、「私の通う小学校の近くに炭坑はあつたの？」「女性・子ども・外国人も炭坑していたの？」「黒ダイヤとはなんだろう？」「ボタ山ってなんだろう？」など31項

目のわからないことをテーマごとに「疑問→予想→調べたこと→感想」という順で文・写真・手書きの図などを使ってまとめられています。自分なりの疑問と予想を持って、市立図書館や石炭・歴史博物館のほか、福智町や嘉麻市の図書館へも家族と出かけたり、ボタ山・三井寺などの現地にも足を運んだりして、多くの人から聞き書きをしています。

作品の最後には、「私は本をたくさん読みました。目がいたくなる時もありました。でも、読んでいるうちに、炭坑のことをもっと知りたくなりました。いろいろと調べて、いろいろなことが知れてよかったです。炭坑めぐりも楽しかったです」と調べた感想が書かれています。

私は、この作品を読んで、私自身が知らなかったことをたくさん教えてもらいました。市立図書館の館長も「13人のどの作品も、疑問に思ったことを自ら行動して調べており、レベルが高い」と評価されています。学校でも授業の中で探求心を育てる取り組みを進めていきますが、ご家庭でも、お子さんの「疑問に思うこと」を探しだし、図書館などを活用し、調べていくことにチャレンジしてみませんか。きっと、お子さんはもちろん、家族のみなさんにとっても、さまざまな気づきや発見があると思いますよ！



みんなが誇れる、教育と文化のまち、田川をめざして

保護者や地域のみなさんの協力・応援を受け、田川市教育委員会では、「すべての市民が誇れるまち田川」をめざし、「厳しい生活実態の子どもたちが多いからこそ、最高水準の教育を！」「すべての子どもたちが、自分のよさや特性を生かして、自立し、進んで社会参画する力を！」を合い言葉に、学校とともに教育改革を進めてきました。

ここでは、平成29年度の主な取り組みと成果、平成30年度の目標と主な取り組みを紹介します。

平成29年度の主な取り組みと成果

かげやま おごうしき 「陰山メソッド」「小河式」を中心 に学力向上施策を実施

「全国学力・学習状況調査」において、全国平均を超える学校が増加

ALTの増員(1→3人)、青山学院大学の指導による授業づくりや小中一貫英語カリキュラムの作成

児童生徒の英語への関心と教職員の指導力が向上。英語が飛び交う環境を実現

小中学校の全学級に「電子黒板」「デジタル教科書」「実物投影機」などを配置

子どもたちの学習意欲と集中力が向上

中学校で完全給食を開始

市内小中学校のすべての子どもたちに栄養バランスの取れた給食を提供

返済の必要のない奨学金制度の創設

24人へ入学支度金10万円と修学資金(月額)2万円の給付を行い、修学を支援

小学校トイレの改修

児童生徒の快適な学校生活のため、弓削田小学校と大浦小学校のトイレを改修

小学1・2年生対象の学習習慣の定着や学習意欲の向上を目的とした「放課後子どもチャレンジ教室」、中学生対象の「土曜数英まなび塾」などの学習支援の取り組みを拡大・充実

行政・学校・地域が連携し、「放課後子どもチャレンジ教室」は、これまでの既存校2校(弓削田小学校、大藪小学校)に加え、伊田小学校、金川小学校の計4校に拡大(平成32年度までに全9小学校で実施)。また、「土曜数英まなび塾」では、講師・参加者数が増加

教育委員会と福祉行政との協働

0歳から18歳までの子どもたちを見守り、支援するための基点となる「子ども支援連携推進室」を設立準備

総合体育館の改修

子どもから高齢者まで安全安心に総合体育館を利用できるように館内のバリアフリー化、大アリーナの冷暖房設備を新設

家庭教育講座の拡大

家庭での教育力の向上を目的に社会教育委員の会議との共催で開催。講座回数を6回に増やし、これまでなかった水難予防の体験、そして親子参加型講座を盛り込むなど内容を充実させることで、参加者としては過去例にない276人が参加

石炭・歴史博物館の改修工事完了、再オープン

ユネスコ世界記憶遺産(世界の記憶)「山本作兵衛コレクション」を保存する環境を整備。春季と秋季に原画企画展を開催

中学校再編に向けた取り組み

「田川市新中学校創設基本計画(案)」を作成。住民説明会などを実施

平成 30 年度の目標と主な取り組み

【教育総務課】

- より良い教育環境づくり
児童生徒の安全安心で快適な学校生活のため、大浦、大藪小学校校舎の外壁改修や大藪、鎮西、田川小学校のトイレ改修など
- 積極的な情報発信
開かれた教育委員会をめざした、広報紙「GuRuMi」の発行など
- 教職員の人権・同和問題に関する理解と意識の向上
田川市教育委員会人権・同和問題職員研修計画の進捗管理など

【学校教育課】

- 安全・安心、気持ちよく学べる教育環境づくり
学校・家庭・地域が連携した「笑顔のハッピーあいさつ運動」の推進など
- 確かな学力、豊かな人間性、健康・体力・自立心を育む学校教育
陰山メソッド・小河式の実践(百ます計算、音読、全漢字練習)
- 「田川ならではの教育」の推進
福祉行政との連携強化、自立支援の推進、青山学院大学との外国語教育の連携、田川市中学校生徒会サミットなど

【新中学校再編推進室】

- 新中学校創設基本計画の策定・説明会の実施
保護者や地域のみなさん、教職員に向けた説明会の実施など
- 新中学校創設に向けた課題の整理・検討
通学路の整備や校舎整備期間中の教育環境に関する具体的な検討など

【文化生涯学習課】

- 幅広い地域間交流を進め、強い絆で結ばれた地域共同体づくり
強い絆で結ばれた家庭・地域社会の構築を目的に、市内小中学校を中心に、学校と地域が連携した「笑顔のハッピーあいさつ運動」の実施など
- いつでもどこでも学べる生涯学習環境づくり
田川市民会館で、さまざまな市民の学びの場などを目的に実施している公民館講座や人材バンク講座などの充実・拡大に向けた啓発など
- 子どもたちを守り、健やかに育むための、家庭・地域の教育力向上
放課後子どもチャレンジ教室の拡大(4校から6校)など
地域の防犯活動の一環として行う青色パトロール車での巡回活動について、効果的な活用を目的とした運用制度の見直しなど
- 互いの人権を尊重する地域社会づくり
市民の人権意識・人権認識・人権感覚をさらに高めるために、学校・公民館などのさまざまな場で人権・同和教育講座を開催
- 生涯にわたり楽しめるスポーツ活動を充実する
総合体育館のエレベーター設置などによって館内のバリアフリー化が完了。障害者スポーツの普及振興を目的とした事業実施など
- 豊かな心を育む芸術文化活動の支援
市民文化の高揚に向けた市民文化祭などイベントの実施や文化団体の育成など
- 歴史を受け継ぐ文化遺産の保護・活用
ユネスコ世界記憶遺産(世界の記憶)である「山本作兵衛コレクション」を中心とした、歴史・文化遺産を活用した展示の実施など

石炭・歴史博物館に 新館長が就任

平成30年4月1日、福岡県立大学名誉教授・たがわまるごと博物館館長の森山沾一さんが田川市石炭・歴史博物館の館長に就任しました。



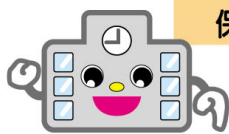
4月1日付けで、田川市石炭・歴史博物館館長に就任しました森山です。平成4年に福岡県立大学に赴任して以来、「今でも良い田川をさらに良い田川に！」をスローガンに、さまざまなまちづくり活動に取り組んできました。博物館では、石炭のことだけではなく、田川地区全体の素晴らしい歴史や文化を発信しながら、子どもも大人も、ふるさと田川に愛着と誇りを持てるような取り組みを行っていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

教えて!再編ススくん

今回は、今年1月から2月にかけて実施した保護者懇談会について説明するよ!

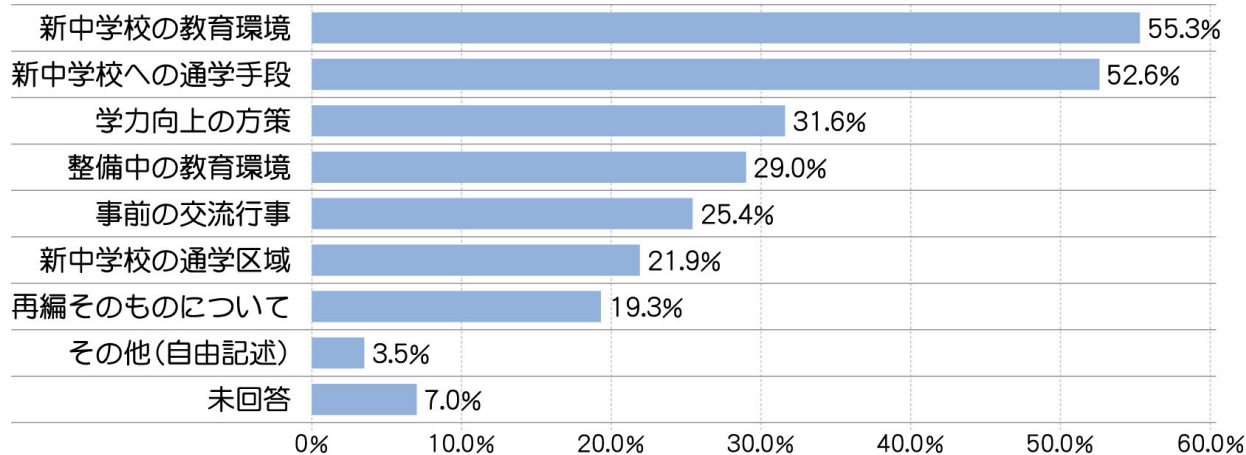


保護者懇談会参加者総数：133人(うち、アンケート提出者数：114人)



懇談会では参加者に対してアンケートを実施したんだけど、「現在、関心が高い(期待する)ものはどれですか」という回答については、次のような結果になったよ。

(複数回答あり)



上記の結果から、特に保護者のみなさんの関心が高いのは、一番は校舎が新築になるのかどうかといったことや体育施設の充実、空調設備などといった「新中学校の教育環境」、二番は自転車通学や通学路整備などといった「新中学校への通学手段」ということが分かるね。

その他(自由記述)については、例えば開校準備協議会のスケジュールや部活動、地域連携についてなどの記述があったよ。



今後について



学校再編に関する理解を深めていただき、また、新中学校の教育環境や通学などに関して、より具体的な質問や意見をいただくため、PTA役員との懇談会などを定期的にも実施する予定だよ。

いただいた意見などについては、新中学校に生かせるよう取り組んでいくよ!

◆ 学校再編に関する問い合わせ ◆ 田川市教育委員会 新中学校再編推進室 ☎85-7169